

~松山の思い 届けたい~

ふるさと 松山便

「ふるさと松山便」では、四国・松山の旬な情報を届けするとともに、皆さんの交流の場として、その他様々な情報を発信していきます。

4月号 Vol.20



—今月の表紙—

「15年ぶりに復活した東雲神社の能」
4月4日、15年ぶりに東雲さんのお能が奉納されました。拝殿では力強い舞が披露され、観客を魅了していました。

3月 県内の動き

- ・道後温泉旅館協同組合が新名物料理「道後蒸し(県が開発した高級ブランド豚を使った)を開発(10日)
- ・みかんジュースの搾りかすで、バイオエタノールを作り出すプラントが今秋スタート(11日)
- ・松山地方気象台が松山市の桜の開花を発表、統計を取り始めて最も早い「春の便り」に(14日)
- ・道後に春を呼ぶ恒例の「道後温泉まつり」が道後温泉一帯で始まる(19~21日)
- ・小説「坂の上の雲」の主人公 秋山真之の生誕142年祭が、秋山兄弟生誕地で開催(21日)

市政スポット

- ・「坂の上の雲ミュージアム」企画展第4弾「新聞『日本』と子規」が開幕(2日)
- ・坂の上の雲のまち松山 スペシャルドラマ館が松山城ロープウェイ駅舎2階にオープン(7日)
- ・スペシャルドラマ「坂の上の雲」で主人公、正岡子規の妹役、律を演じる女優の菅野美穂さんが来松し 坂の上の雲ミュージアムで市民ら約300人を前にドラマ出演の感想や今後の抱負を熱く語る(12日)
- ・日本イベント大賞に第12回松山「俳句甲子園」全国高等学校俳句選手権大会が大賞を受賞(25日)
- ・「三津の渡し」、約20年ぶりに新船の「こぶかり丸」が就航(27日)

※太文字は次頁に詳細を掲載

特集 ~松山の新たなスポットが誕生~城山公園整備

松山版 セントラルパークが誕生

特集

～松山の新たなスポット 城山公園第1期整備工事完了

今春、松山市の城山公園堀之内地区の第1期整備工事(9ヶ所)が完了し、松山の新たなスポットとして全面開放された城山公園。今回の特集は、計画から約10年の歳月を経て、ようやく広大な緑の公園として生まれ変わった城山公園の概要を紹介いたします。



記念イベントで流鏑馬披露

城山公園の整備完了を記念した流鏑馬が4月3日、ふれあい広場の西側馬場で披露されました。勢いよく駆け抜ける馬上から、騎手が矢を放つと、大勢の観客から大きな拍手や歓声があがっていました。



桜や梅 寄贈した市民が記念プレートを取り付け

3月13日、桜や梅を寄贈した市民らを招いて記念式典が行われ、参加者は自分たちが贈った木にそれぞれ記念プレートを取り付けていました。



整備された西口



やすらぎ広場



やすらぎ広場

二ノ丸と松山城本丸の景観を背景に、憩いのある空間が生まれました。



ふれあい広場

ボール遊びなど、軽スポーツが楽しめるほか、イベントも開催することができます。



城山公園メインゲートに相応しく、南堀端の橋も遊歩道に改修されました。



ふれあい広場の休憩所

武家屋敷をイメージさせる休憩所

城山公園の特徴

- ・キャッチボールなどボール遊びができる。
- ・松山城の天守閣や二之丸などの景観が楽しめる。
- ・園内には多種多様な桜の木が100本以上植樹されている。

市政スポットから



「三津の渡し」、約20年ぶりに新船の「こぶかり丸」が就航

三津1丁目から対岸の港山地区までの海上を結ぶ無料渡船「三津の渡し」に3月27日、約20年ぶりに新船が就航しました。

この日の朝の一番船には、早速、地元の幼稚園児が乗り込み、約80名の日本で最も短いクルージングを楽しんでいました。



日本イベント大賞に松山の「俳句甲子園」全国大会が大賞を受賞

昨年実施した第12回松山「俳句甲子園」全国高等学校俳句選手権大会が『第5回日本イベント大賞』の大賞を受賞しました。
3月25日(木)

に東京都内で開催された表彰式には、主催者であるNPO法人俳句甲子園実行委員会の岡本会長、中村松山市長が出席し日本イベント産業振興協会から表彰状等が授与されました。

お問い合わせ

松山市 東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目4-1 日本都市センター会館11階

TEL 03-3262-0974 E-mail:tokyo@city.matsuyama.ehime.jp